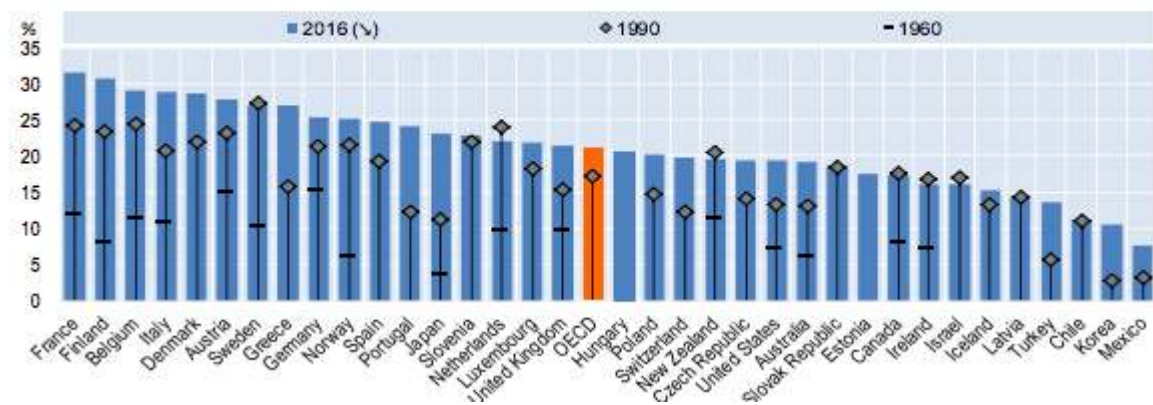


福祉国家の多様性

第10回 比較政治経済分析

図 1. 公的社会支出の対 GDP 比は OECD 平均で 21%

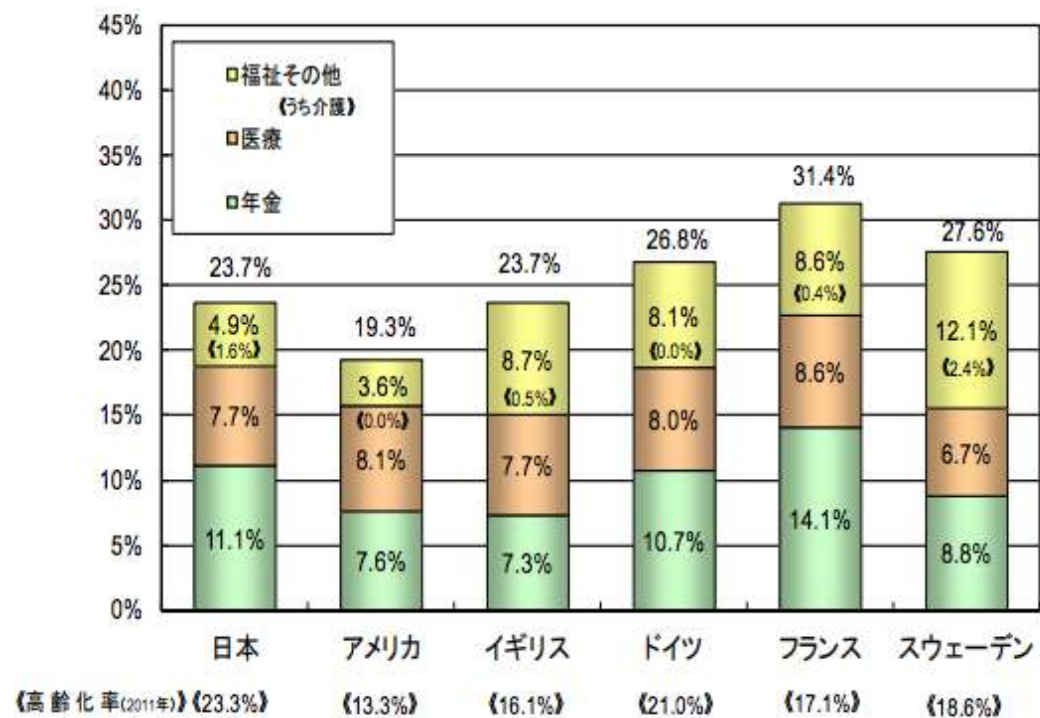
1960 年、1990 年、2016 年の公的社会支出の対 GDP 比



P-N8



社会保障給付の部門別の国際的な比較(対GDP比)



平成29年度厚生労働白書

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/17/dl/1-01.pdf>

福祉国家発展の分岐

- 多様性の起源への関心
- Ann Shola Orloff and Theda Skocpol, "Why Not Equal Protection: Explaining the Politics of Public Social Spending in Britain, 1900-1911, and the United States, 1880s-1920," AJS, 1984
 - イギリスにおける福祉国家発展(第1次世界大戦以前から)
 - アメリカは、同じ時期に南北戦争従軍者への年金や福祉政策＝事実上の福祉政策＝後退
- 経済的説明
- リベラリズム
- 労働組合

20世紀初頭のイギリスとアメリカ

- 官僚制と競争的政党制の成立順序
 - Patronage 政治的便益供与
- イギリスにおける政党対立＝体系的政策を競う
- 集権的官僚制
- アメリカにおけるpatronage政治と改革政治
- 官僚制の未発達



WHY NOT EQUAL PROTECTION ?

*American workman's social insurance protection
compared with British workman's.*

Figure 1. A Cartoon about British and U.S. Social Insurance

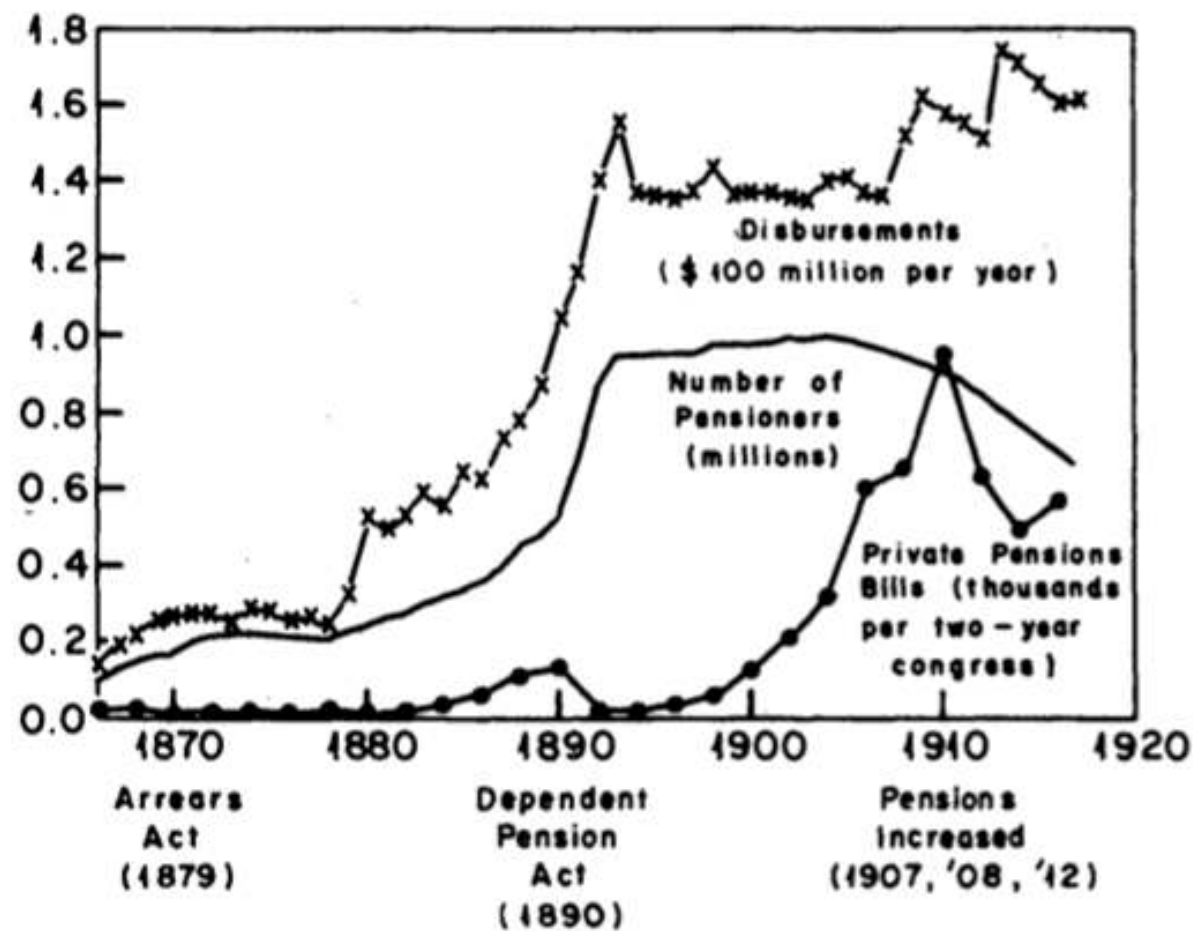


Figure 2. The Expansion of Civil War Pensions, 1866-1917

Percent of Labor Force in Agriculture

United Kingdom		Massachusetts		United States	
1890-99	15%	1895	7.2%	1890-99	42%
1910-19	12%	1915	4.8%	1910-19	31%

*Percent of Labor Force in Manufacturing,
Mining, and Construction*

1890-99	54%	1895	50.5%	1890-99	28%
1910-19	43%	1915	48.4%	1910-19	31%

Sources: U.S., U.K.: U.S. Bureau of the Census, 1966:103.

Mass.: Massachusetts Bureau of Statistics, 1900:275; 1918:490.

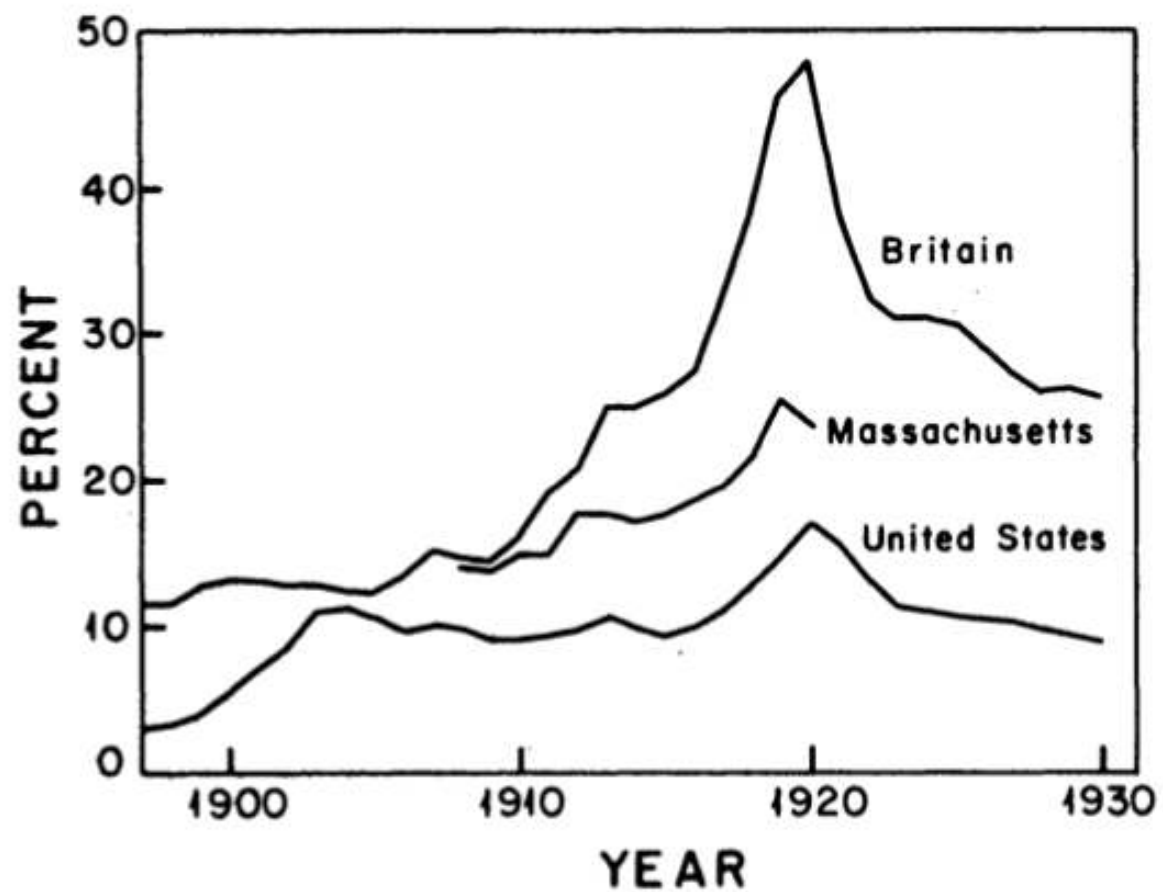


Figure 3. Trade Union Membership as a Percentage of the Labor Force in Britain, the United States and Massachusetts

先進国内での多様性

- 「閾値問題」と量的差異
- 従属変数を支出のみで見て良いか？
- 例) 失業率の高低と完全雇用政策
- 全国民をカバーする所得比例型公的年金・困窮層への救貧的福祉政策(生活保護＝選別主義)
- 質的差異への注目

A国

B国

失業率 10%

失業率 5%

失業手当 60%

失業手当 60%

GDP比

2:1

福祉国家の多様性

- 普遍主義か選別主義か
- 救貧か権利か

エスピン・アンデルセン

『福祉資本主義の三つの世界』(原著1990)

レジーム	脱商品化	階層化
自由主義	低い（民間保険）	高い（二重構造）
保守主義	高い	高い（職域別）
社会民主主義	高い	低い（普遍主義）

- ・脱商品化: 人々が市場に依拠することなく生活を維持できる程度
- ・階層化: 福祉プログラム間の格差

自由主義(アングロサクソン)・保守主義(大陸ヨーロッパ)・社会民主主義(北欧)

表2 各福祉レジームの支出構造と平等化指標（1992 年ごろ）

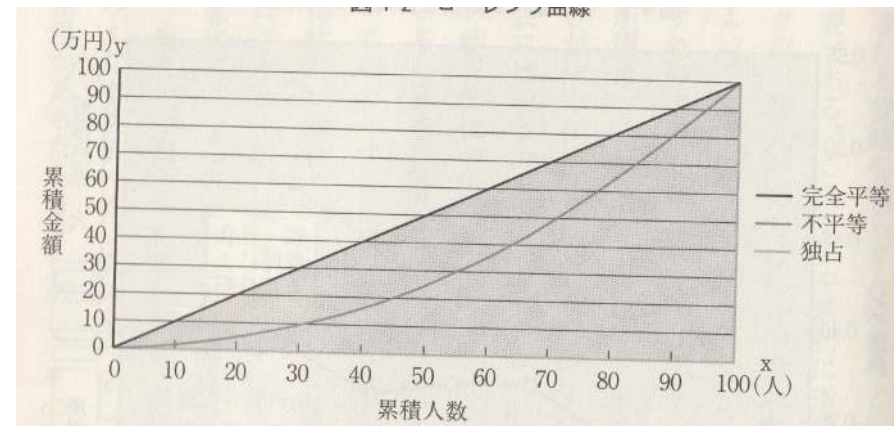
	社会的支出 (%)	公的扶助 支出(%)	積極的 労働市場政 策支出(%)	ジニ係数 (1990 年代中盤)	相対的貧困率 (1990 年代中盤)
自由主義レジーム					
アメリカ	15.2	3.7	0.2	0.361	16.7
イギリス	23.1	4.1	0.6	0.312	10.9
オーストラリア	16.3	6.8	0.7	0.305	9.3
ニュージーランド	22.2	13	1.1	0.331	7.8
カナダ	21.8	2.5	0.6	0.283	9.5
社会民主主義レジーム					
スウェーデン	35.3	1.5	2.9	0.211	3.7
ノルウェー	26.8	0.9	1	0.256	8
デンマーク	30.7	1.4	1.7	0.213	3.8
フィンランド	33.9	0.4	1.7	0.228	4.9
保守主義レジーム					
ドイツ	26.4	2	1.9	0.280	9.1
フランス	28	2	1	0.278	7.5
オーストリア	25	1.2	0.3	0.238	7.4
オランダ	28.3	2.2	1.3	0.255	6.3
ベルギー	28.4	0.7	1.2	n.a.	n.a.
イタリア	24.3	3.3	0.2	0.348	14.2
日本	11.8	0.3	0.3	0.295	13.7

〔出所〕 社会的支出、積極的労働市場政策支出は、OECD Social Expenditure Database、公的扶助支出は Eardley et al. [1996] 35 による。

ジニ係数および相対的貧困率は、OECD, Society at Glance: OECD Social Indicators: Raw Data (<http://www.oecd.org/dataoecd/34/11/34542691.xls>)。

相対的貧困率とGINI係数

- 「相対的貧困率」とは、等価可処分所得(世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得)の貧困線(中央値の半分)に満たない世帯員の割合



政治社会学的説明へ：アクターへの注目

- 福祉政策の受益者としての商品化された労働者
- 「権力資源動員論」：労働勢力による資源動員
- 労働組合組織率
- 労働者を代表する左派政党の強さ
 - 労働者政党の可能性？
 - 過半数を握れない
- 階級間連合理論「政治的連合形成」＝労働者階級の連合形成からの説明

表1 各福祉レジームの政治的特性と労働市場（1980 年ごろ）

	左派政党政 権担当期間	キリスト教民 主主義政党政 権担当期間	労働組合 組織率 (%)	女性労働 力率 (%)	コーポラ ティズム 指標	少数派の法 案ブロック 可能性
自由主義レジーム						
アメリカ	0	0	25	60	1	7
イギリス	16	0	48	58	2	2
オーストラリア	7	0	51	53	1	4
ニュージーランド	10	0	59	45	1	n.a.
カナダ	0	0	31	57	1	4
社会民主主義レジーム						
スウェーデン	30	0	82	74	4	0
ノルウェー	28	1	59	62	4	0
デンマーク	25	0	70	71	3	0
フィンランド	14	0	73	70	3	1
保守主義レジーム						
ドイツ	11	16	40	51	3	4
フランス	3	4	28	54	2	2
オーストリア	20	15	66	49	4	1
オランダ	8	22	38	35	4	1
ベルギー	14	19	72	47	3	1
イタリア	3	30	51	39	2	1
日本	0	0	31	54	n.a.	2

宮本太郎『福祉政治』14-15頁

[出所] 左派政党、キリスト教民主主義政党の政権担当期間、労働組合組織率、女性労働力率は、Huber and Stephens [1998] によるもの。1946 年から 1980 年までの左派政党、キリスト教民主主義政党の政権参加について、単独政権の場合を各年ごとに 1 とし、連立政権の場合は議席数に応じて調整した数値を加算。

コーポラティズム指標は、Lehmbruch [1984] によるもの。

少数派の法案ブロック可能性は、Huber, Ragin, and Stephens [1993] によるもの。連邦制（非連邦制 0、弱い連邦制 1、強い連邦制 2）、大統領制（大統領制 1、非大統領制 0）、選挙制度（比例代表制 0、修正比例代表制 1、小選挙区制 2）、二院制（一院制あるいはきわめて弱い第二院 0、弱い第二院 1、強い第二院 2）、リファレンダム（行われない、あるいは稀 1、盛ん 2）で、政治過程において少数派が反対するイシューを阻止できる可能性を指標化している。

連合形成と福祉レジームの関係

- 社会民主主義
 - 赤(労働者)と緑(農民)の連合→赤と白(ホワイトカラー)の連合→普遍主義
- 保守主義
 - 農民と労働者の連合は不成立・白と保守派の連合
 - 保守勢力による抱き込み・カトリック教義→職域別
- 自由主義
 - 労働者の孤立→民間保険と選別主義的福祉

福祉国家の再編と多様性

- 福祉国家縮減の政治
- Paul Pierson, Dismantling the Welfare State? Reagan, Thatcher and the Politics of Retrenchment. 1994. Cambridge University Press.
 - 英米における新自由主義と福祉国家改革
 - 支出は減らない謎
 - 経路依存性 ロックイン効果
 - 福祉受益者の拡大 正のフィードバック効果
- 成果誇示と非難回避
- Giuliano Bonoli and David Natali, The Politics of the New Welfare State , 2012, Oxford UP.
- 多様性の維持？

新しい福祉国家？

- 脱工業社会化と新しい社会的リスク
 - 伝統的福祉国家からの転換
 - 男性稼得者世帯モデルの変容
- 新しいリスク
 - サービス産業化
 - 低賃金職種
 - シングルマザー・(ファーザー)
- 介護・保育・職業訓練・・・

新しい福祉国家

- 稗田健志「新しい社会的リスクの比較政治経済学」レヴァイアサン47号
 - 脱工業化のタイミングが政策構成に違いを生む(Bonoli, 2007)
 - 北欧は脱工業化が福祉給付が本格化する前に生じた
 - 拒否点の多い政体では、既存の給付支出に対して拒否権プレイヤーの妥協を促す。受給権削減の補償としての「社会的リスク」向け公共支出(Bonoli, 2005; Hausermann, 2006)
 - 政権の党派性が公的社会サービスの拡大を規定する(E.Huber & Stephens, 2000, 2006)

新しい福祉国家

- 稗田健志(2010)
- 拒否権プレイヤー間のイデオロギー距離が広がると「新しい社会的リスク」に対する政策への支出の伸びが抑制される一方、福祉国家の発展期にその受給権が確立した現金給付支出に関しては、そうした負の効果を持たない。
- むしろ1990年代以降、対社会保障支出で見れば、「伝統的社会的リスク」に対する支出を拡大する方向に働いている。